

川島甚兵衛(3代)
かわしまじんべえ
ペリー来航・1853 =

織物工芸家。渡仏してゴブラン織などを研究、西陣織はじめ織物技術を革新し、古織復元した。

京都で、_呉服悉皆屋上田屋(川島)甚兵衛(初代)の長子に生まれる。

桜田門外変・1860 = 7歳 :

生麦事件・・1862 = 9歳 :

_幼時より織物図案・織法に天稟を見せ、

明治維新・・1868 = 15歳 :

廃藩置県・・1871 = 18歳 :

明治6年政変 1873 = 20歳 :

琉球処分・・1879 = 26歳 : _父が死去して、家業をつぐ。

・・・・・1880 = 27歳 :

明治14年政変 1881 = 28歳 :

秩父事件・・1884 = 31歳 : 自家に最新式の織物工場を建て、美術織物の製作に精進する。

内閣発足・・1885 = 32歳 : *五品共進会に出品した美術織物「葵祭」が機縁となって、時の農商務大輔品川弥二郎の知遇を得、

帝国大学始・1886 = 33歳 : _駐独大使となった品川とともに渡欧、フランスのリヨンを中心にゴブラン織を研究する。皇居造営御用織物調製のため、帰国、

国民之友始・1887 = 34歳 : *以後、綴錦の大作をつぎつぎに発表し、内外人士を驚嘆させる。

帝国憲法発布 1889 = 36歳 :

縮緬織など普通高級織物の改良にも数々の貢献を行い、また早くから生糸輸出を絹織物輸出に代えるべきことを説き、この方面でも先覚者的働きをした。

日清戦争始・1894 = 41歳 :

子規句歌革新 1898 = 45歳 : *帝室技芸員となる。

日露戦争終・1905 = 52歳 :

韓国反日暴動 1907 = 54歳 :

*オランダのヘーグの平和宮殿の壁面を飾るべき綴錦の大作「花鳥の図」の作製に取り組み中、

韓国併合・・1910 = 57歳 : 風邪をこじらせて、京都で、_没した。

筆内幸子「川島甚兵衛覚書」、